

令和 2 年度府立高校生ハイブリッド型英語研修事業 企画提案に係る仕様書

1 事業の趣旨

- (1) 国内にしながら、より高い語学力・コミュニケーション能力を身に付けさせ、異文化理解の促進と、意見を論理的に英語で表現する力を育成
- (2) コロナ禍により留学に行けなかった府立高校生に対して、国内でのハイレベルな英語研修への参加を支援

2 参加生徒

- (1) 参加生徒数 50～100名程度
- (2) 参加生徒の選考は京都府教育委員会（以下「教育委員会」という。）が行う。

3 研修先

京都市内の研修施設

4 研修期間

令和 3 年 3 月 20 日（土・祝）午後～3 月 22 日（月）午前の 2 泊 3 日

5 業務内容

- (1) 対面式とオンラインによるハイブリッド型研修の実施
以下のとおり 2 つのカリキュラムを設定し、事業趣旨に沿った研修をオールイングリッシュで実施すること。
 - ア バーチャル異文化体験
 - ・定員 25～50 名程度
 - ・国内の外国人留学生等を活用したワークショップなど、異文化理解を中心としたプログラムにすること。
 - ・日常会話レベルの英語でコミュニケーション力向上を図るプログラムを入れること。
 - ・オンラインで外国の生活に触れるプログラム（バーチャルホームステイ等）を入れること。
 - イ 英語力向上研修
 - ・定員 25～50 名程度
 - ・国内の外国人留学生等を活用した少人数でのグループディスカッションなど、意見を論理的に英語で表現する力を鍛える内容を中心としたプログラムにすること。（英検 2 級程度を想定）
 - ・海外でのキャリアを考えるきっかけとなるような、海外トップレベルの大学との、オンライン海外交流プログラム（キャンパスツアー等）を入れること。
- (2) 研修施設の確保
研修施設は、公共交通機関の便が良い京都市内の施設とし、3 密を避けるために十分な広さを確保すること。
なお、宿泊先は参加者個人で手配するため、取扱い業者での確保は不要とする。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策の徹底

プログラムの実施にあたって換気・除菌等必要となる措置を講じること。

(4) 研修の周知及び参加生徒の受付等

研修に係る周知については、掲示用の募集チラシ又はポスターを作成し、令和3年1月15日（金）に各校に配布すること。（最低でも1学級に1枚以上）

なお、費用については取扱業者で負担し、見積書には含めないこと。

また、研修に係る周知、参加生徒の受付及び契約については、全て取扱業者の責任において行うこと。

(5) 保護者向け資料の作成及び配布

研修参加生徒保護者向けの資料（当事業の概要、スケジュール等を分かりやすく提示したもの）を作成し、参加生徒決定後速やかに保護者に配布すること。

(6) 傷害保険及び事故の場合等の対応

ア 参加生徒が希望する場合、傷害保険に加入できるよう準備すること。ただし、料金は個人負担とする。

イ 研修先等において災害等緊急事態が発生した場合、直ちに参加生徒の安全確保、状況把握、連絡体制の構築を行うこと。

(7) その他

事業が円滑に実施できるよう必要な措置を講ずること。万一、業務に遅延等が生じた場合は、原因を明らかにし、教育委員会及び参加生徒保護者に対し十分な説明を行うこと。

また、教育委員会の補助対象となる研修であることを踏まえ、参加生徒の安全面への配慮を徹底すること。

6 見積金額

生徒1人あたりの費用は4～5万円程度とする。

見積金額については、業者負担とする費用を除く全ての費用を含めること。

7 その他

(1) 教育委員会は原則、参加生徒と取扱業者との仲介は行わない。

(2) 個人情報の取扱いについては、個人情報保護に関する関係法令等を遵守し適切に取り扱うこと。

(3) 参加生徒の個人情報について、教育委員会が事業実施にあたり必要とする場合は、当該生徒及びその保護者の同意を得た上で、教育委員会に提供すること。

(4) 参加人数があまりに少ない場合は、教育委員会と協議の上、取扱業者は研修実施を中止することができる。